

<b>2024 年度 昭和女子大学 大学院入学試験 7 月期 生活機構研究科 人間教育学専攻 修士課程 (外国人留学生入試)</b>	<b>氏名</b>							
<b>小論文 問題用紙 (1／1)</b>	<b>受 験 番 号</b>							

以下の 2 問から、1 問を選択して別紙に解答しなさい。(800 字以内)

A) 日本では、第二次大戦後の高度経済成長期以降、父親が外に出て働き、母親が家事労働と子育てを担うという「性別役割分業」が続いてきた。しかし、21 世紀に入り、女性が結婚、出産後も仕事を続け、社会で活躍するようになったことで、乳幼児期の子どもの子育ての姿は大きく変わりつつある。

女性が社会で活躍することによって、子育てのスタイルはどのように変化してきているのか、また、健全な子どもの育ちという観点からどのような問題が起こることが危惧され、その問題を解決するためにはどのような手段が考えられるかを論じなさい。

B) 日本では、2019 年（令和元年）に GIGA スクール構想（ギガスクールこうそう）が提案された。全国の児童・生徒 1 人に 1 台のコンピューターと高速ネットワークを整備する文部科学省の取り組みである。この取り組みによって「学校の ICT 環境整備状況は脆弱であるとともに、地域間での整備状況の格差が大きい危機的状況」、「学校の授業におけるデジタル機器の使用時間は OECD 加盟国で最下位」、「学校外での ICT 利用は、学習面では OECD 平均以下、学習外では OECD 平均以上」といった日本の学校現場の実情の改善を目指している。

一方で、ネット依存やゲーム障害といった問題も深刻化しており、病院で治療が必要な状態の子どもたちも年々増加している。

以上のような現状を踏まえ、学校教育の中で ICT の活用能力を高める取り組みがもたらす効果と危険性について論じなさい。